

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7271）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
健康のびのびアウトドアツーリズム事業	17,056	23,980	△6,924				17,056	
トータルコスト	20,969千円（前年度 27,879千円）〔正職員：0.5人〕							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、委託契約・補助金交付事務							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

自然を楽しむ体験型観光の注目度が全国的に高まっていることから、新しい時代の鳥取のアウトドアツーリズムを様々な形で打ち出していくことで、観光誘客を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	区分	内容	予算額
1	鳥取キャンプ「とりキャン」の魅力発掘・情報発信	キャンプ場検索・予約サイトと連携し、鳥取でのキャンプ「とりキャン」の魅力を発信し、県内への誘客及び県内観光等の周遊を促す。	3,000
2	「アウトドアツーリズム県・鳥取」の発信	アウトドア情報誌への掲載等を通じ、鳥取県がアウトドアツーリズムに適した県であることを発信し、新たなブランドイメージを展開していく。	924
3	キャンプ場利用環境改善支援事業補助金	県内キャンプ場の利用環境の水準向上を図るための設備整備等に要する経費の一部を支援する。 （補助率：1/2、補助上限額：2,000千円）	10,000
4	鳥取県着地型観光・体験情報発信事業補助金	大手体験予約サイトにおいて、体験アクティビティ及び本県観光の魅力を発信するための経費を補助する。 （実施主体：県観光連盟、補助率：10/10）	3,132
合 計			17,056

3 事業目標・取組状況・改善点

豊かな自然を活用したアウトドアツーリズムを推進するため、本県で体験可能なキャンプやアウトドア体験の魅力新たに情報発信するとともに、引き続き、県内キャンプ場事業者が行うキャンプ場の利用環境の水準向上のための施設整備等に要する経費の一部を支援し、更なる本県への観光誘客、県内周遊につなげていく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スナバ国への観光関係人口拡大事業	4,449	4,209	240				4,449	

トータルコスト 9,144千円（前年度 8,887千円）〔正職員：0.6人〕

主な業務内容 委託事業に係る手続、関係機関との連絡調整

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

「スナバ国」の名を活かした「鳥取県」の知名度向上を図る。また、鳥取県を「第2のふるさと」と感じていただく方を増やし、鳥取の“ヒト”や“コト”に共感していただける関係人口を創出することにより、リピーター化、ふるさと納税の増加、副業・地域の担い手としての参画、移住に繋げるきっかけとする。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	区分	内容	予算額
1	「スナバ国」パスポート運営・スナバ国民向け施策	・鳥取県をこよなく愛する方、気になっている方をスナバ国民として募集。「スナバ国パスポート」を交付するとともに、定期的な情報発信を行う。 ・鳥取の“ヒト”や“コト”に共感していただけるスナバ国民を増やすため、スナバ国民と地域住民との交流推進（モニターツアー等）やスナバ国民限定キャンペーンの実施。	3,449
2	メディア等とタイアップした情報発信	鳥取砂丘でロケした作品や、「砂」「スナバ」をテーマにメディア等とタイアップしたスナバ国の情報発信・ワードラリー等のキャンペーン開催。	1,000
合 計			4,449

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・令和4年10月からスナバ国民の募集を開始し、令和6年1月29日現在で7,039人（県内1,193人(16.9%)、県外5,846人(83.1%)）が登録。
- ・令和5年度は、SNSキャンペーンやフォトコンテスト、映画『SAND LAND』とのコラボによる情報発信によりスナバ国の認知拡大・国民登録促進を図った。またスナバ国で活躍する「人」の取材記事をメールマガジンで配信した。なお令和6年3月にスナバ国民が地域の人と交流するモニターツアーを実施予定。
- ・鳥取の魅力発信や国民限定キャンペーンの実施、スナバ国民と地域との交流推進により、鳥取のファン、鳥取を「第2のふるさと」と感じていただける方を拡大していく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりサウナツーリズム推進事業	7,000	7,660	△660				7,000	

トータルコスト 14,825千円（前年度 15,457千円） [正職員：1人]

主な業務内容 関係機関との連絡調整、補助金交付事務、契約事務

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

本県の豊かな自然や温泉地、サウナ施設等を活用した誘客を図るため、「とどのう とっとり サウナ旅」をテーマに、「とっとりサウナツーリズム」を推進する。

※「とどのう とっとり サウナ旅」とは、サウナ環境（自然、温泉地、サウナ設備、催し、熱波師）が整った鳥取県での癒しの旅のこと。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
1 「とどのうとっとり」による情報発信	ホームページやSNSにより、自然豊かな鳥取県のサウナで心身がとどのうイメージを演出しながら、県内温泉地や周遊モデルルート、とっとりサウナCEAの活動、イベント情報等を発信する。	1,000
2 とっとりサウナワーケーションのモニターツアー実施・発信	JAPAN SAUNA-BU ALLIANCEと連携し、「とっとりサウナワーケーション」のモニターツアーを実施する。	1,000
3 首都圏における情報発信	首都圏の有名サウナ施設にて、「とっとりデー」として鳥取のサ飯、サウナグッズをはじめとした情報発信を行う。	1,000
4 県内事業者と連携した情報発信・産業振興	首都圏見本市等に「とどのうとっとりブース」を出展し、サウナを軸とした産業振興を図る。	1,000
5 民間事業者と連携した「とっとりサウナツーリズム」の推進	とっとりサウナツーリズムの魅力発信につながる県内民間事業者によるサウナイベントの開催やオリジナルサウナグッズの製作等に対する経費を支援する。 (補助率：1/2、上限額1,000千円)	3,000
合計		7,000

※JAPAN SAUNA-BU ALLIANCE：サウナを通じた企業間の交流を推進する企業連合で、幅広い業種の企業・団体206社が加盟（令和5年12月時点）。

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・県内在住熱波師を「とっとりサウナCEA（Chief Executive Aufgusser、最高経営Aufgesser）」に任命し、「とどのうとっとり」ホームページ開設を皮切りに「とっとりサウナツーリズム」を推進している。
- ・R5年度は、JAPAN SAUNA-BU ALLIANCE共同代表を「とっとりサウナワーケーションプロデューサー」に任命するとともに、日本サウナ学会総会2023を開催し、県内サウナ関係者の機運醸成及び「とっとりサウナツーリズム」の知名度向上を図った。
- ・県民が「とどのうとっとり」に対する愛着を持ち、自ら情報発信・PRに取り組む機運を醸成するため、サウナの魅力発信やブランドイメージ定着を図る。また、首都圏等でのイベント開催を通じて、全国に向け「とどのうとっとり」の知名度向上を図る。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
旅情あふれる「鳥鉄の旅」創造事業	9,267	9,267	0				9,267	

トータルコスト 17,092千円（前年度 17,064千円） [正職員：1人]

主な業務内容 関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付事務、契約事務

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

「瑞風」「銀河」「あめつち」「昭和」などの観光列車、「やくも」などの特急列車や鉄道沿線に広がる農山漁村、懐かしさを感じる駅舎など鳥取ならではの鉄道の魅力を活かした「鳥鉄の旅」の取組を推進し、本県への観光誘客を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	内 容	予算額
1 鳥鉄の旅ツアー創造支援事業		
雑誌、SNS等を使ったPR及び鳥取全路線旅創造	観光列車「銀河」「あめつち」「昭和」「八頭」「若桜」「あまつぼし」、特急列車「やくも」、「鬼太郎列車」、「コナン列車」を使った鉄道の旅の雑誌広告・記事掲載、インフルエンサーの活用、SNS等を使ったネット広告等による情報発信を行う。駅の御朱印「鳥鉄駅印」及び鳥鉄駅印帳を作成し、県内のレトロやノスタルジック溢れる車両、駅舎等を情報発信するとともに、鳥取全路線旅を創造する。	3,000
JR西日本と連携した観光イベントの開催等（山陰観光連盟負担金）	JR西日本と連携した駅等で行う観光誘客イベントの開催、フリーペーパー等への記事掲載、観光列車内での観光PRなど情報発信を山陰観光連盟を通して行う。	2,000
2 鳥鉄の旅魅力造成支援事業	鉄道沿線おもてなしや、県内のJR、若桜鉄道、智頭急行等に関連した鉄道観光メニューの造成、観光素材の磨き上げを行い、鳥取県内ならではの鉄道の旅を楽しむ魅力づくりを支援する。 （取組例）「銀河」停車駅でのおもてなしなど （補助概要）補助対象者：県内鉄道事業者、観光事業者、市町村 補助上限：500千円（補助率1/2）	2,000
3 観光列車運行対策事業		
島根県、JR西日本と連携したおもてなしの取組	JR西日本の長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」の再度の山陰方面への運行に合わせて、島根県・JR西日本と連携したおもてなしの取組を推進する。	1,000
東浜駅周辺環境整備に係る補助金 ※平成28年度に債務負担行為設定済	東浜駅周辺トイレ、レストラン等の環境整備に係る町実質負担に対して支援する。（支援対象：岩美町）	1,267
合計		9,267

3 事業目標・取組状況・改善点

JR西日本、第三セクター鉄道会社（智頭急行、若桜鉄道）と連携した情報発信により「鳥鉄の旅」の認知が高まってきたところであり、今後さらに関係者間の連携を強化しながら、地域をあげての観光列車へのおもてなし機運の醸成や鉄道施設・沿線周辺の観光素材の磨き上げを行い、鉄道をテーマとした鳥取ならではの旅の創造による誘客を促進する。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘活性化・魅力向上プロジェクト	19,750	33,860	△14,110				19,750	

トータルコスト 29,923千円（前年度 43,996千円） [正職員：1.3人]

主な業務内容 補助金交付事務、委託、関係団体等との連絡調整等

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取砂丘の観光振興や魅力向上を図るため、鳥取市と連携し、ソフトとハードの一体的な整備を進める。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
1 情報発信、東西周遊の取組	砂丘特設サイトによる観光情報の発信	500
2 鳥取砂丘イリュージョンに対する支援	鳥取砂丘イリュージョンの実施に係る経費 鳥取県・鳥取市負担金 各7,500千円 [実施主体] 鳥取砂丘イリュージョン実行委員会 [事業内容] 電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等	7,500
3 「日本一のすなば」魅力まるごと事業負担金	鳥取砂丘未来会議が公募し、採択したイベントについて支援を行う。 [補助対象] ・鳥取砂丘の自然体験を通じ、砂丘の魅力を学習するイベント（すなばを通じた教育、県民の砂丘魅力再発見、砂丘ガイドの育成） ・鳥取砂丘特に西側エリア（多鯨ヶ池含む）の利活用を促進し、インバウンドを含めた観光の潜在につながるイベント [補助対象者] 非営利公益活動団体、地域住民組織、個人等 [補助率] 1年目：4/5 2年目：2/3 3年目：1/2 [補助年数上限] 3年間 [補助上限] 1,000千円/年 ※鳥取砂丘の4エリア（西側・東側・中央・多鯨ヶ池エリア）のうち2エリア以上を活用し、周遊させる事業については補助上限額1,500千円	6,800
4 鳥取砂丘西側上質化推進事業補助金	県市の連携協約に基づき、鳥取砂丘西側の情報発信及び受入整備に要する経費を負担する。 [実施主体] 鳥取市 [委託先] (株) ヤマタ鳥取砂丘ステーション [負担割合] 1/3	4,950
合計		19,750

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・鳥取砂丘周辺の受入環境の整備や景観の保全に取り組み、鳥取砂丘への来訪者の満足度を向上させる。
- ・平成15年度から始まった鳥取砂丘イリュージョンは、冬の鳥取砂丘の風物詩となっている。
- ・鳥取砂丘新発見伝事業は平成12年から、県民主導のイベント展開で、砂丘の新たな魅力の認知・定着化を図ってきた。予算規模の見直し等が必要なことから、令和2年度から新たな支援制度を立ち上げた。
- ・鳥取砂丘東側で、環境省により鳥取砂丘ビジターセンターが整備され、鳥取県ではスロープ階段、公衆トイレの改修など、受入環境の整備を進めてきた。西側で、鳥取砂丘フィールドハウス（令和5年4月開館）、ヤマタ鳥取砂丘ステーション（令和6年4月開業予定）、マリオット・インターナショナル（令和8年開業予定）など施設整備が進んでいる。
- ・令和3年度から連携協約に基づく県市連携協議会を開催し、令和5年度は砂丘周辺の景観改善（立木伐採、草刈等）や富裕層向けの観光コンテンツの磨き上げや高付加価値化について協議し、連携強化を確認した。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)ユニバーサルツーリズム推進事業	3,764	0	3,764	1,500			2,264	

トータルコスト 4,547千円（前年度 0千円）〔正職員：0.1人〕

主な業務内容 関係機関との連絡調整、契約事務

事業内容の説明

【「デジタル田園都市国家構想交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

令和6年度はあいサポート運動15周年の節目の年を迎えることや、令和6年4月から民間事業者にも「合理的配慮の提供」が義務化されることを踏まえ、本県におけるユニバーサルツーリズムを推進するため観光モデルコースを造成するとともに、観光事業者が障がいのある方に対する対応方法や配慮事項について学ぶ機会を設ける。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
モデルコース造成	観光地や宿泊施設、飲食店等を組み合わせ、誰もが安心して快適に旅行ができるモデルコース（3コース）を造成し、WEB媒体等で情報発信を行う。	3,000
観光接遇研修	観光事業者等を対象として、障がいのある方の受入れの際に配慮すべきことや対応の方法を研修し、受入体制の強化を図る。	764
合計		3,764

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・ 宿泊施設改修への支援やとっとりUDマップによる情報発信、インバウンド対応として、車いす利用者の英語版日本観光情報サイト運営者に県内を視察いただき、バリアフリー情報を掲載してもらうなどユニバーサルツーリズムを推進してきた。
- ・ ねんりんピックや大阪・関西万博等の開催を契機に、障がい者や高齢者を含む誰もが安心して観光できる受入体制の強化を図り、誘客促進につなげる。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7239）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
サイクリストの聖地鳥取県整備事業	47,166	186,875	△139,709				47,166	

トータルコスト 54,209千円（前年度 193,892千円）〔正職員：0.9人〕

主な業務内容 関係機関との連絡調整、委託契約・補助金交付事務、工事発注・監督業務

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

「鳥取うみなみロード」について、サイクリストの安全性を高めるとともに、道路を利用する自動車や歩行者等の走行・通行における安全性の確保を引き続き図っていく。また、ナショナルサイクルルート（NCR）の指定に向けて、矢羽根の設置、注意喚起の路面標示や案内看板の整備を進め、令和6年度中に整備を完了させる。

また、県内のサイクリストの聖地化を目指し、県内サイクリングルートや周辺観光施設等の情報発信、サイクリングイベントの開催やサイクルトレイン運行に向けた支援を行い、県内全域でのサイクリスト受入環境の充実を図るとともに、県内サイクリングルートの観光活用、県内サイクルツーリズム推進の気運醸成を図る。

※ナショナルサイクルルート：走行環境、受入環境に係る国が定める要件を満たし、日本を代表し、世界に誇り得るサイクリングルート。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
1 ナショナルサイクルルート指定に向けた展開	鳥取うみなみロードを安全・快適に走行するため、引き続き矢羽根や注意喚起の路面標示、看板の整備などの走行環境の整備を進める。 また、コンビニエンスストア、飲食店へのバイクスタンド、修理工具等の設置のほか、自転車の屋内保管等のサイクリスト向けサービスを提供する鳥取県版サイクリストに優しい宿の認定を行うとともに、周遊モデルコースの設定、地域の魅力を紹介するサイクリングガイドの養成を行うなど、受入環境の整備充実を図る。	24,200
2 サイクルツーリズムの全県展開	レンタサイクル拠点の整備に係る経費に対する支援（補助率1/2：上限1,000千円）を行うとともに、サイクリングイベントやサイクルトレイン運行に向けた駅構内案内表示等の整備を支援する。 また、倉吉東郷自転車道を修繕し、安全・快適な走行環境を整備する。	14,966
3 広域連携・情報発信	中国地方が魅力的なサイクリングエリアとなることを目指し、中国5県が連携して受入環境の整備等に取り組むとともに、国内サイクリングイベントにおける情報発信等に取り組む。	8,000
合計		47,166

3 事業目標・取組状況・改善点

- 令和5年2月に策定した「鳥取うみなみロード整備計画」に基づき、令和5年度から矢羽根や注意喚起の路面標示、看板の整備などの走行環境整備を進め、各道路管理者と連携して令和6年度中の整備を完了させる。
- 受入環境整備については、サイクリングガイドの養成や情報発信サイトの多言語化などの整備を進めてきた。今後も、県内で安心快適にサイクリングを楽しんでもらえるよう、サイクリスト支援体制「ダイジョウブシステム」の充実を図るとともに、鳥取うみなみロードを起点とした各圏域を周遊するモデルコースの設定、継続的なサイクリングイベントへの支援などによりNCR指定に向けた機運醸成一層進めていく。
- ナショナルサイクルルートの指定要件クリアに向けた取組を進めるほか、鳥取県のサイクリスト聖地化に向け、全県域でサイクリスト目線による更なる受入環境の充実を図るとともに、中国5県による広域連携でのサイクルツーリズム推進など、近隣地域とも連携したサイクリスト誘客を図る。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7239）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光周遊促進支援事業	24,454	19,877	4,577	10,812			13,642	
トータルコスト	29,932千円（前年度 25,335千円） [正職員：0.7人]							
主な業務内容	補助金交付事務、関係機関との連絡調整							

事業内容の説明

【「デジタル田園都市国家構想交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

旅行形態の団体旅行から個人旅行への変化を踏まえ、個人旅行者の利便性向上と本県旅行商品の魅力アップによる本県への誘客を図るため、空港や駅等の基幹交通拠点を出発地として観光地を巡るプランの充実を図る。また、クルーズ客船の寄港地から周辺施設への周遊を促進する。

2 主な事業内容

(1) 主要観光地等を周遊するタクシー等の運行及び広報支援

予算額：21,170千円

補助対象者	市町村、民間事業者等
補助率	1/2
補助対象経費	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費

(2) 空港や駅から主要観光地を周遊するバス等の運行及び広報支援

予算額：1,418千円

補助対象者	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会 鳥取市観光コンベンション協会
補助率	1/3
補助対象経費	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費

(3) 港から周辺施設等への周遊バスの運行支援

予算額：1,800千円

補助対象者	市町村、観光関係団体等
補助率	1/2
補助対象経費	運行経費から運賃収入を除いた経費

(4) ガイドマップ「とっとりのももの総合案内」作成

予算額：66千円

観光客に対して県内の観光二次交通情報をわかりやすく情報提供するため、東部、中部、西部のエリア別に観光二次交通と観光情報をまとめたガイドマップを作成する。

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・個人旅行者に対する利便性・周遊性の向上及び本県旅行商品の魅力アップにつなげることを目標とし、県内の観光二次交通の整備を進めている。また、クルーズ客船寄港時の周遊バス運行支援（港から周辺施設等へのアクセス・利便性向上）により、ツアーに参加しないフリー客の県内誘客促進に取り組んでいる。
- ・今後も、様々な周遊コースの提供により、滞在時間の延長及び県内周遊の促進、県内観光地等の魅力発信を推進する。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7638）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
教育旅行誘致強化事業	18,995	18,995	0				18,995	
トータルコスト	19,778千円（前年度 19,775千円） [正職員：0.1人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、補助金交付事務							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取ならではの地域資源と各分野の人材を活用した体験型教育旅行商品の開発・普及を促進し、鳥取の魅力を見守ることに伴って、鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大を目指す。

2 主な事業内容

- (1) 教育旅行誘致を目的とした宿泊助成 予算額：9,295千円
本県での教育旅行受入を積極的に進めるため、宿泊費助成を設け、教育旅行の誘致促進を図る。
補助対象者 県外の小、中、高等学校
補助額等 宿泊延べ人数×1千円（上限300千円/校）
- (2) 体験型教育旅行誘致促進業務補助金 予算額：9,700千円
教育旅行の誘致拡大に向け、視察旅行の開催等の積極的な売り込みを図るとともに、体験型教育旅行の受入機能を強化する等の受地体制整備に取り組む鳥取県教育旅行誘致促進協議会に対し、運営費等を補助する。
 - ・鳥取県教育旅行誘致促進協議会運営費（観光関係団体等の受地体制整備、体験型教育旅行の誘致活動、情報発信等）
 - ・教育旅行誘致コーディネーターの配置
 - ・教育旅行向け新規メニュー開発
 - ・来県生徒への「とっとりウエルカニ会員証」の発行
 - ・(新)鳥取への教育旅行を検討している旅行会社、学校の職員が行う県内視察に係る経費への支援

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・平成30年度から、鳥取県観光連盟に教育旅行コーディネーターを配置し、県内で一体となった誘致活動や体験メニュー造成、宿泊費助成等により、県内への教育旅行誘致に取り組んでいる。
- ・鳥取県を旅行先を選んでいただくため、引き続き本県ならではのアクティビティ等の体験メニューを強化するとともに、SDGs・環境・平和など新しい学習的要素のメニュー開発や磨き上げを行い、更なる誘致促進を図っていく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7271）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 温泉地等魅力向上事業	0	1,310	△1,310					
トータルコスト	0千円（前年度 2,089千円） [正職員：0人]							
事業内容の説明 令和6年3月末をもっていなば温泉郷協議会が解散されるため廃止する。								
(廃止) 蟹取県ウエルカニキャンペーン事業	0	1,000,000	△1,000,000					
トータルコスト	0千円（前年度 1,003,119千円） [正職員：0人]							
事業内容の説明 事業が終了したため廃止する。								
(廃止) 観光需要回復加速化緊急対策事業（バス旅行商品支援）	0	50,000	△50,000					
トータルコスト	0千円（前年度 52,339千円） [正職員：0人]							
事業内容の説明 事業が終了したため廃止する。								

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7273）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 持続可能なスナバ 国創造事業	0	26,700	△26,700					
トータルコスト	0千円（前年度 31,378千円） [正職員：0人]							
事業内容の説明 国委託事業の終了等に伴い廃止する。								
(廃止) 白うさぎ年・兔の 聖地とっとり 推進事業	0	20,000	△20,000					
トータルコスト	0千円（前年度 23,119千円） [正職員：0人]							
事業内容の説明 事業が終了したため廃止する。								

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費 <地方機関計上予算>

東部地域振興事務所（電話：0857-20-3664）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東部地域振興・交流支援事業	1,007	1,807	△800				1,007	

トータルコスト 4,137千円（前年度 6,474千円）〔正職員：0.4人〕

主な業務内容 負担金・補助金交付、額の確定等事務及び関連機関との連絡調整、ニク(29)ロードイベント実施

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

東部地域において、地域資源を活用しながら地域の魅力創出を行い、交流・関係人口及び観光客の増加など活性化に繋がる事業の実施を促進・支援する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業名	目的	主な事業内容	予算額	事業実施主体
「幸せはこぶ福(29)ロード」事業	兵庫県と鳥取県の国道29号周辺地域の市町及び民間関係者等との協力と連携の下に、地域の振興と活性化を図る。	【負担金】 (1)国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会負担金(300千円) 沿線地域の情報発信事業等の実施 【補助事業】 (2)ニク(29)ロード推進事業(707千円) ニク(29)ロードイベント等の実施	1,007	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

東部地域の活性化を図るため、地域資源を活用した地域振興や交流人口増加に繋がる事業の実施を促進・支援する。

○取組状況等

「幸せ運ぶ福(29)ロード」事業

「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」が両県や周辺地域の市町、国土交通省河川国道事務所及び商工会等の民間関係者と連携し、地域の振興と活性化に係る情報発信事業やジビエ等の食材を活用した肉グルメのイベントである「1129(イイニク)感謝祭29(ニク)グルメ&ジビエフェア」及び「ニク(29)ロードスタンプラリー」を実施している。